

景観デザイン規範事例集の作成



環境研究部 緑化生態研究室 室長 松江 正彦 主任研究官 小栗 ひとみ
 空港研究部 空港ターミナル研究室 室長 上島 顕司

(キーワード) 景観デザイン規範, デザイン事例, 土木構造物, 事例集, 技術情報

1. 景観デザイン規範事例集作成の経緯

公共事業における景観形成については、2007年4月から本格運用された「国土交通省所管公共事業における景観検討の基本方針(案)」によって体制・手続きの整備が進むとともに、2007年2月までに各事業分野の景観形成ガイドラインが出揃い、景観を考える際の技術的指針が示された。しかし、土木分野では景観・デザインに配慮した設計を行う際に参考となるような規範的事例を集めた資料集がなく、そのことが景観デザインに関する誤解や合意形成の妨げの一因となっている。

そこで、土木構造物の規範的デザイン事例を選定し、公共事業における「よい景観」の方向性を示すとともに、景観・デザインに配慮した設計の際の参考となる情報を整理した「景観デザイン規範事例集」(以下「規範事例集」という。)を作成した。

2. 景観デザイン規範事例集作成の概要

規範事例集では、河川、海岸、港湾、道路、橋梁、街路、公園の7分野を対象として、近世・近代および現代の土木構造物ならびに空間の中から、優れたデザインあるいはスタンダードなデザインとして既に評価の定まった計75事例の技術情報を収録した。収録した情報項目は、諸元、設置の経緯、設計の特徴と景観デザインとして優れた点、周辺の地形や街並み等との関係を示す位置図、構造物や空間の全容および構成要素に関する図面、写真である。規範事例集にはこれら事例の他に、各分野のデザインを考える上で参考となる事項・

概念をまとめた19項目のコラム、選定の過程で整理された候補事例リストも掲載した。

なお、作成にあたっては、(社)土木学会景観・デザイン委員会内に景観デザインおよび各分野の専門家による「土木デザイン集成編集小委員会(委員長:篠原修政策研究大学院大学教授)」を設け、規範となる事例の選定および選定のポイントに関する議論を進めた。

3. 成果の公表

規範事例集は、2008年3月に「国土技術政策総合研究所資料第433号 景観デザイン規範事例集(道路・橋梁・街路・公園編)」および「国土技術政策総合研究所資料第434号 景観デザイン規範事例集(河川・海岸・港湾編)」として発行した。これまでに、国土交通省各地方整備局の事業担当課と全事務所等の関係機関を始め、土木系の主立った大学研究者、工業高等専門学校土木系学科、自治体等に約2,800部を配布した。また、国土技術政策総合研究所ウェブサイトにおいてもpdfファイルにて公開しているところである。本事例集が、景観保全・形成における技術者の日常的な能力向上のための参考図書として、また計画・設計における合意形成の一助として、あるいは専門教育での教材として広く活用されることを期待している。

<http://www.nilim.go.jp/lab/ddg/seika/ks/tnn0433.html> (道路・橋梁・街路・公園編)

<http://www.nilim.go.jp/lab/ddg/seika/ks/tnn0434.html> (河川・海岸・港湾編)